

# **平成24年度 活動計画**

**2012年7月27日(金)**

**野村総合研究所  
丸の内総合センター 8F 中会議室84**

## ◆ 設立趣旨と目的の確認

### 【設立の趣旨】

OracleによるSunの買収により、Sunが開発したオープンソースのSSOソフトウェアである「OpenSSO」について、国内のユーザ企業から「OpenSSOコミュニティ」の存続に関する不安の声があがっている。

日本における「OpenSSO」のユーザ企業、及び「OpenSSO」に関するソリューションを提供しているプロバイダー企業は、ユーザ企業が今後も安心して「OpenSSO」を継続的に利用できるように、協力してオープンソースソフトウェアとしての「OpenSSO」、及びそのコミュニティを維持させていく必要がある。

また、近年のコンプライアンスや内部統制の強化という流れから、今後も「OpenSSO」が果たす役割は大きく、さらなる普及の促進や、機能面の継続的な拡張を行っていく必要がある。

さらに、欧州では、OpenSSOから派生したOpenAMが、OpenSSOの後継として認知されつつある。効率よくOpenSSOを維持・発展させていくために、日本と欧州のコミュニティが連携して活動していく必要がある。

我々は、OpenSSO(およびOpenAM)を維持・発展させ、さらに普及させていくことを目的として、「OpenSSO & OpenAMコンソーシアム」を設立する。

### 【目的】

#### ●「OpenSSO」を継続して維持・発展させる。

会員企業が、「OpenSSO」に対して、バグFIX、セキュリティ対策を行う際に、会員企業間で情報交換や連携を行うことで、効率よく維持・発展させていく。

#### ●「OpenSSO」と「OpenAM」とを統合する。

今後、会員企業が行う「OpenSSO」に対するメンテナンス、及び機能拡張は、基本的に「OpenAM」のリポジトリに対して行う。

#### ●「OpenSSO、及びOpenAM」の普及を促進する。

コンソーシアムとして、セミナーの開催や、イベントへの出展を行い、「OpenSSO、及びOpenAM」の普及に努める。

#### ●日本のマーケットに対して、「OpenSSO、及びOpenAM」が安心して、継続的に利用できることを認知させる。

コンソーシアムとして、セミナーの開催や、イベントへの出展を行い、「OpenSSO、及びOpenAM」の普及に努める。

## 目的に対しての活動

セミナー	1回(2012年度総会1月～)
イベント	開催なし
ワーキンググループ	ユーザーWG 2回
ホームページ	Twitterウィジェット設置 事例、製品・ソリューション情報掲載
FaceBook	<a href="http://www.facebook.com/openam.conso">http://www.facebook.com/openam.conso</a>
Twitter	OpenAM_conso
会員数	正会員企業13社、一般会員企業4社 (チエル株式会社様、株式会社インテック様が加入)

時期	活動項目
2011年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 会員限定情報タブを技術情報タブに変更</li> <li>• ChangeLog和訳を掲載</li> <li>• 事例定型フォーマットの作成</li> <li>• Facebookページ、Twitterアカウントの作成               <ul style="list-style-type: none"> <li>■ facebookページ「OpenSSO&amp;OpenAMコンソーシアム」</li> <li>■ Twitter</li> <li>【ユーザーID】OpenAM_conso</li> <li>【名前】OpenAMコンソーシアム</li> </ul> </li> </ul>
2012年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Facebook、Twitterの運用ルールの策定、告知</li> <li>• Facebook、Twitter開始</li> </ul>
2012年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事例掲載、技術セミナー/事例セミナー情報掲載</li> </ul>

開発WG→バグ情報の和訳し、公開していく。  
ユーザWG→事例を集約し、公開していく。

全会員企業により事例や技術情報の交換や連携を行う。  
コンソーシアム発信により啓蒙活動を行う。



これにより、OpenSSO(OpenAM)継続維持発展を目的とする。  
各社のソリューション紹介だけではなく、事例の公開によりOpenSSO(OpenAM)のメリットや、OpenSSO(OpenAM)使用時の懸念点の解決方法などを中心に、コンテンツを作成し、公開(発信)していく。

### 平成23年度活動計画の継続化

- 会員事例を集め資料化する。  
→資料化済み(追加フローも確定)
- 資料化されたアウトプットをWebやチラシとして公開/配布する。  
→<http://www.openam.jp/category/member/products> にて公開
- 技術セミナーおよび事例セミナーを上/下半期に各1回のペースで実施する。  
→4月5日に事例セミナーを実施  
→9月に技術セミナー、3月に事例セミナーを実施予定
- ChangeLog和訳を開発WGで実施していく。  
→Snapshot、Agentについて和訳を実施(7月より再開予定)
- 技術セミナーやワーキンググループコンテンツを含む議事内容は、  
→Webサイトで実施中
- エンドユーザーから、OpenSSO(OpenAM)普及の阻害要因をヒアリングし課題を解決する。  
→7月に掲載予定

# ◆ 平成24年度 活動計画

	活動	時期	詳細
1	WEBサイト	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員各社の事例を定型フォーマットにて掲載し、SEO対策を施す</li> <li>・ 技術情報のページの運用 →掲載内容:翻訳、事例、会員各社のSSOセミナー情報など</li> <li>・ ForgeRock社、最新情報を掲載</li> <li>・ Facebook (<a href="http://www.facebook.com/openam.conso">http://www.facebook.com/openam.conso</a>)、Twitter (ハッシュタグ #openam_jp)の運用 →投稿内容:会員各社のセミナー情報など</li> </ul>
2	イベント	通年	・各社のイベント時にコンソーシアム資料を配布
3 ワーキンググループ			
	開発WG	年2回	・定期的な情報交換会の実施
		通年	・ ChangeLog和訳の実施
	ユーザWG	年2回	・定期的な情報交換会の実施
		通年	・事例資料の作成、更新
	合同ミーティング	年2回	
4	セミナー	年2回	・技術情報、事例セミナーの実施
5	その他	随時	・他の団体(※1)との連携や共催セミナー開催など

※1:医療分野認証基盤整備コンソーシアム、オープンソースビジネス推進協議会(OBCI)、日本OSS推進フォーラム、情報サービス産業協会(JISA)など

# 技術セミナー 計画案

時期	活動項目
開催日程	9月21日(金)予定
会場規模	100名規模 →TKP赤坂ツインタワーカンファレンスセンターを予定(費用は、講演企業にて分割負担)
講演内容	・基調講演 →ForgeRock社より講演者来日 エンタープライズ向けロードマップ、海外事例の紹介 ・正会員企業講演(検討中) →講演内容例)OpenAMの啓蒙となるもの、商用製品との比較、入門内容など
対象層	検討中

## ◆ 平成24年度 活動スケジュール

時期	活動項目
4月	・事例セミナー
6月、7月	・理事会/総会 ・Webコンテンツ拡充 ・開発WG
8月	・ ChangeLog和訳のアップデート
9月	・技術セミナー ・開発WG
10月	・ユーザWG
11月	・事例の更新連絡
12月	・コンソシアム忘年会 ・ChangeLog和訳のアップデート
1月	・事例アップデート
2月	・事例セミナー
3月	・来年度事業計画

**OpenSSO&OpenAM  
コンソーシアム**

**<http://www.openam.jp/>**